

かつしか 区議会だより

主な内容 2・3面…一般質問 4面…4年間の任期を振り返って 5～7面…決算特集 8面…可決された議案ほか

第3回定例会

9月	10日	本会議（一般質問等）
	11日	本会議（一般質問、議案の付託等） 決算審査特別委員会 総務委員会、議会運営委員会
12・16～18日		常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
19・22・24日		特別委員会（区民サービス向上対策、危機管理対策、都市基盤整備）
25日		議会運営委員会
26日		本会議（議案の議決等）
10月	29・30日 1～3日	決算審査特別委員会
	6日	議会運営委員会
	7日	本会議（議案の議決等） 常任委員会（保健福祉、文教、総務） 議会運営委員会

No.267 令和7年（2025年） 10月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX5698-1543



秋の水元公園（令和6年9月撮影）

今回の定例会では、10名の議員から区政一般質問が行われたほか、令和7年度一般会計補正予算（第2号）および令和6年度各会計歳入歳

出決算報告などの区長提出議案等30件と、議員提出議案1件が可決されました。

令和6年度決算6件を審査・認定

区議会議員協議会（全員協議会）を開催

8月19日に区議会議員協議会（全員協議会）が開催されました。当日は、バルサアカデミー葛飾校に関する第三者調査委員による調査の方向性および進捗について、区側からの説明と議員からの質疑が行われたほか、参考人を招致し、現状の確認などを行いました。議事録につきましては、区議会ホームページでご覧いただけます。

可決された議案等

☞は意見の分かれた案件（各会派の賛否は8面参照）

【区長提出議案等 30件】

予 算 4件

▼令和7年度一般会計補正予算（第2号）
歳入歳出にそれぞれ71億5千596万2千円を追加し、予算総額を2千685億8千777万7千円とする。

▼令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
歳入歳出にそれぞれ5億2千560万8千円を追加し、予算総額を493億7千560万8千円とする。

▼令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
歳入歳出にそれぞれ7千74万7千円を追加し、予算総額を122億4千474万7千円とする。

▼令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
歳入歳出にそれぞれ9億9千889万9千円を追加し、予算総額を482億6千989万9千円とする。

決 算 6件

▼令和6年度一般会計歳入歳出決算
令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
令和6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
令和6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算
令和6年度用地特別会計歳入歳出決算
令和6年度駐車場事業特別会計歳入

歳出決算分

制定する条例 1件

▼空家等の適正管理に関する条例
空家などの適正な管理に関し必要な事項を定める。

一部を改正する条例 4件

▼区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例
補償基礎額の扶養に係る加算額を改めるほか、所要の改正をする。

▼空家等対策協議会条例
学識経験者の委員の上限数を5人から7人に変更する。

▼体育施設条例
小菅西公園フットサル場にスケートボード場を新設し、名称を小菅西公園運動場に改める。

▼区議会議員又は区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例
公職選挙法施行令の改正を踏まえ、選挙運動用のビラおよびポスターの作成に係る公費負担の限度額を改める。

契 約 10件

▼（仮称）特別養護老人ホーム等代替施設建築工事請負
宝木塚小学校建築工事請負
奥戸総合スポーツセンター陸上競技場天然芝化改修工事請負
四ツ木中学校既存校舎等解体工事請負

▼全国みどりと花のフェアかつしか用フラワーメリーゴードランドの買入れ
二上小学校改築に伴う什器等の買入れ

8面に続く

政治家の寄附は、禁止されています。また、年賀状等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く。）を出すことも禁止されています。

議員など政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れなどをしたり、お祝い金（出産・新築など）、贈り物（お中元・お歳暮など）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

かつしか区民連合

情報の共有と地域に寄り添った
まちづくりを

東京理科大学との連携・協力体制

問 以前から東京理科大学学生による区立学校への理科キャラバン隊を提案している。理数系に強い葛飾区という教育特色をつくることができるかと考えるが区の課題認識と見解を伺う。

答 キャラバン隊については理科好きの子どもを増やすことにつながると考える。学生の授業等に支障のない日程で実施し、本区の理数教育の充実を図ることができるよう大学と協議し、実施に向けて検討を進めていく。

※他の質問項目 薬学部との連携 など

子どもの居場所づくり

問 学童保育の待機児童解消に向け、公立保育園や私立幼稚園の活用はできないのか、課題認識と見解を伺う。

答 葛飾区私立幼稚園連合会と幼稚園の活用について協議・検討を進めているが、専用区画の確保やトイレ設備などの課題がある。公立保育園についても同様の課題があるが、子育て支援部と連携し検討していく。

※他の質問項目 朝の小1の壁対策 など

堀切菫蒲園駅周辺のまちづくり

問 駅周辺の無電柱化は景観や土地の価値向上につながる重要な観点なので、視野に入れて取り組むべきかと考えるが、課題認識と見解を伺う。

答 当該地域の区道の無電柱化は地上機器の設置場所確保などの技術的課題があるが、よりよい歩行空間の確保に向け検討していく。

※他の質問項目 歩行者中心のまちづくり など

新小岩地区の特徴に配慮した
まちづくりの推進

新小岩駅周辺のまちづくり

問 北側地区には東京聖栄大学があり、文化創造ゾーンとしての位置づけも期待される。まちづくりの推進や本区との協働などの観点からも支援をしていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。



新小岩駅北側地区の東京聖栄大学

答 東京聖栄大学は、長年にわたり地域全体の健康意識向上に貢献いただいている。本区では公共性や公益性を考慮しながら、ふるさと納税制度を活用した補助スキームを提案するなど協議を行っており、今後もさまざまな支援策を検討していく。

問 新小岩公園再整備の基本構想策定に当たっては、南地域・北地域・一般の3グループで検討会を開催し意見交換しているが、その後の地元への情報提供が不足していると感じる。改めて丁寧な情報提供や意見交換を進めていくべきと考えるがどうか。

答 今後、土壌汚染対策など多くの課題が生じることが見込まれるため、現在行っている取り組みのほか、適宜地元説明会を開催するなどして、丁寧に情報提供や意見交換を行っていく。

問 駐輪場整備は利用率の向上を考慮しながら進めていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 区民の駐輪需要を適切に受け止めるために、DXによる多様な決済手法の導入や鉄道駅までの動線を工夫するなど、使いやすく利用しやすい駐輪場を整備するとともに、利用率を向上させる施設運営を行うなどの取り組みを進めていく。

※他の質問項目 葛飾あらかわ水辺公園の再整備 など

日本共産党葛飾区議会議員団

物価高騰から暮らし営業を守る
緊急提案・税金は暮らし優先に

物価高騰等から区民生活を守るための緊急対策等

問 物価高騰緊急対策支援金を早急に実施するとともに、給付額を増額するべきと思うがどうか。

答 現時点で支援金を実施する考えはない。社会経済情勢を注視しさまざまな角度から必要な支援を行っていく。高騰を上回る賃上げである。区内中小企業者に対して支援し、賃金の底上げを実施すべきと思うがどうか。

答 社会経済情勢を注視しながら、さまざまな角度から支援を検討していく。シルバークラスはもともと無償とされていたものであり、区独自の補助などを検討すべきと思うがどうか。

答 都や他区で実施する補助の実施状況などについて、注視していく。

問 西新小岩地域は大型バスを走らせることが困難である。地域乗り合いバスの検討をしてはどうか。



地域乗合ワゴンさくら

答 地域の実状に合わせた移動手段の確保について、引き続き検討する。

※他の質問項目 暑さ対策 など

災害対策

問 垂直避難や縁故避難ができない災害弱者への対応は自助・共助が働かず、

公助での対応となると思う。どのような避難行動になるのか伺う。

答 移住訓練を積み重ね、優先的に避難支援が必要な方への移送体制を整備するなど、避難行動要支援者全体の避難支援方針を策定していく。

問 人権尊重などの観点から、世帯ごとのテント、段ボールベッドなどを計画的に確保すべきと思うがどうか。

答 特に要配慮者が、段ボールベッドなどを早い段階で利用できるよう、受援体制のさらなる構築や備蓄の充実に向け、取り組みを進めていく。

※他の質問項目 豪雨対策 など

巨大大開発事業と庁舎問題

問 区役所庁舎保留床購入で、積立金が不足したら起債するとしているが、他の再開発等で財源が不足しても、起債するの。多額の利払いによる財源不足を生じさせるのではないかと懸念する。昨今の物価高騰の影響で経費の増加が見込まれるため、起債の活用も検討している。

答 総合庁舎整備の財源は主に一般財源となる。今後の物価高騰の影響で経費の増加が見込まれるため、起債の活用も検討している。

※他の質問項目 再開発後の施設維持のリスフ など

バルサアカデミー葛飾校の問題

問 区政に混乱をもたらした責任は区長にあり、辞職を含めた責任を検討する段階にきているのではないかと懸念する。

答 私が先頭に立ち、問題解決に向けてスピード感を持って全力で取り組んできたところであり、今後もこの姿勢に変わるところはない。

※他の質問項目 グラウンドの優先利用 など

みらい葛飾(生活者ネット・無所属)

性に関する健康と権利の推進
プラスチック製人工芝対策

問 プレコンセプションケア普及啓発の取り組みの一つとして実施される、小中学生を対象としたカリキュラムはSRHRに基づいてはどうか。

答 小中学生を対象としたプレコンセプションケアでは、子どもが自らの健康を維持するための情報や性と生殖に関する正しい知識の提供が必要であるため、関係部署とさまざまな機会を通じて普及啓発を行っていく。

※他の質問項目 包括的教育 など

人工芝

問 人工芝を使用する際には効果的なマイクロプラスチック流出抑制対策の実施を求める。新たに整備する施設や既存施設の人工芝への対応を伺う。



東新小岩運動場の人工芝

答 新たに整備する際には耐久性が高く、マイクロプラスチックの発生を抑制できる製品を選定する。敷設後の施設では具体的な対策について検討する。今後も最新の情報を集め、環境への影響を低減できる対策を講じる。

※他の質問項目 課題認識 など

声を上げにくい人に寄り添った
仕組みの構築と施策の実現

バリアフリーと共生社会の実現

問 障害者・認知症当事者や家族に対する支援体制の強化について伺う。

答 障害や認知症のある方、家族の状況に合わせた支援を行っている。相談は相談支援事業所、高齢者総合相談センターなどできめ細かく実施している。引き続き支援の充実に努める。

※他の質問項目 ユニバーサルデザイン推進の現状と課題 など

若者支援の構築(新宿歌舞伎町「きみまも」視察を踏まえて)

問 「葛飾版きみまも」としての導入可能性、試行的取り組み、具体的な検討状況について伺う。

答 導入に向けた具体的な検討は行っていない。今後、本区の実情に合わせた、区内におけるニーズの把握なども踏まえながら、気軽に利用できる若者の居場所・相談窓口の設置などの環境づくりについて検討していく。

※他の質問項目 取り組み事例 など

自由民主党議員団

真の協働を目指した
組織づくりと区内活性化を

問 さまざまな協働の活動を持続可能な活動とするためにも、次世代を支える若者に対する施策を考えるべきだと思ふが、区長の見解を伺う。

答 若者がさまざまな活動に関心を持ち、協働の活動に参加することで、地域や団体、事業者などとの交流が生まれ、地域への愛着を育むことにつながり、協働の担い手に回ることが期待できる。協働を進めていくためには、まず本区のこと、本区の実情やさまざまな活動団体の状況などを知ってもらうことがスタートであり、大変重要であると考えている。そのため、学生の学校での活動、防災や防犯、まちづくりなどにおける地域での活動など、本区からの情報発信力を強化してきた。これからの一層情報発信と共有を強化し、若い世代が興味や関心を持って活動に関われるように取り組んでいく。

※他の質問項目 協働の成功事例 など

戸籍住民課窓口の長い待ち時間の解消

問 窓口混雑の解消に向けては、「書かない窓口」から「行かない窓口」・「待たない窓口」へ移行していく必要があると考えるが、今後の窓口のDX

区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（11月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

の方向性について伺う。

答「行かない窓口」実現のための手続のオンライン化に当たっては、より必要性の高いものから進めることが重要であると考えており、特にデジタルになじみの深い世代が対象者となることが多く子育て、教育分野の手続を中心にオンライン化に取り組み、区民の方が利用しやすいものとするとともに、業務全体の見直しも進めている。また「待たない窓口」については、現在戸籍住民課と新小岩区民事務所に、インターネット上で呼び出し状況を確認することができる発券機を導入しており、来年度に亀有区民事務所へ導入したいと考えている。今後も、窓口DXを推進し便利で快適な区民サービスを実現していく。

※他の質問項目 コンビニ交付利用の実績 など

四つ木地域のまちづくり

問四つ木地域をはじめとした区内活性化を図るためのキャプテン翼を活用した取り組みの現状と、今後について区の見解を伺う。



四ツ木駅

答キャプテン翼にゆかりのある四つ木・立石地域では、キャラクター銅像の設置や、日本語版・英語版の銅像巡りマップの製作、京成電鉄と協働した四ツ木駅構内の特別装飾のほか、地元商店でのオリジナルグッズ販売などを実施している。また、令和8年2月には、にこわ新小岩でキャプテン翼をテーマとした展覧会の実施

に合わせて地域の回遊につながるデジタルスタンプラリーを予定するほか、来年度は、全国みどり花のフェアかつしかにおけるキャプテン翼銅像の花装飾を検討している。今後より多くの観光客にお越しいただけるよう、キャプテン翼を活用した観光振興のさらなる取り組みを検討していく。

※他の質問項目 学校改築事業によって創出される跡地の活用 など

他の質問件名 女性視点からの防災対策、働きやすいまちを目指したハラスメント対策

適正な区政運営のために将来を見据えた人事戦略を

葛飾区の組織と人事

問適正な区政運営には、トップの将来を見据えた人事戦略が欠かせないと考えるが、区長の考える人事戦略について具体的な見解を伺う。

答さまざまな課題に対し、私は優秀な職員を確保し、職場においてその能力を十分に発揮してもらうことが重要であると考えており、それを実現していくための道筋を示すものが人事戦略であると捉えている。そのため、私の考える人事戦略は、職員が職場で十分に能力を発揮していくために、人材確保の徹底をはじめ、育成の充実や適正な人員配置、勤務環境の整備を推進し、職員がやりがいをもって仕事に臨むことで、生産性の向上をつなげていくものである。

※他の質問項目 管理監督職の人員計画 など

実施だけで終わらない成果ある子育て・教育施策を

子育て・教育施策の成果

問子育て・教育施策の成果は、実施したことが成果ではない。それによって、社会がどのように好転し、さらにそれによって得られたものが成果であると思う。この点を踏まえて、この4年間で実施した無償化施策などの子育て・教育施策の成果をどの

ように区民の方々に説明するつもりなのか、区長の考えを伺う。

答給食費の完全無償化など本区の先駆的な取り組みによって、全国的な子育て支援のレベル向上を牽引するリーダーシップを発揮できたものと考えている。取り組みの成果として、政策・施策マーケティング調査における「子育て支援が充実していると思うか」に関する指標もこの間上昇を続けている。今後も、さらなる子育て・教育支援の充実はもちろん、交通便利性をはじめとする安全・安心・快適な生活環境の向上を図りながら、本区の魅力について区の内外に発信し「子育てするなら葛飾で」と思ってもらえるまちづくりを推し進めていく。

※他の質問項目 子育て・教育施策における行政評価 など

他の質問件名 総合庁舎整備に伴う区政運営

葛飾区議会公明党

未来を見据えた判断力による区政のかじ取りが必要だ

葛飾区基本計画

問これまでの基本計画の進捗について、区長の認識を伺う。

答順調に進捗しているものと認識している。引き続き、子育て世代を中心とした若い世代の流入や定住を促進しながら人口ビジョンに掲げる課題解決を図り、将来にわたって暮らしやすい、夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けて取り組んでいく。

※他の質問項目 人口ビジョン など

教育行政

問現状の学校プールでの熱中症対策は喫緊の課題である。今年度から配備した日よけなどの効果の検証と来年度以降の手立てを早急に検討するべきと思うが、区の考えを伺う。

答遮光ネットを設置した学校からは、熱中症対策として効果があったとの報告を受けている。今後も、学校の

意見を聞きながら、日よけ以外の対策も含め、熱中症対策のさらなる充実を検討していく。



学校プールの遮光ネット

問バルサアカデミー葛飾校におけるこれまでの混乱について教育長はどのように受け止めているのか。なぜ、これまでその責任を取る態度表明をしなかったのか伺う。

答何の責任もない子どもたちと保護者に大きな影響が出ていることについては、大変申し訳なく責任を感じている。態度表明については、教育長として教育行政全般について、常に全力で取り組み、最善を尽くすことが責任を果たすことであると認識し、努めてきたものである。

※他の質問項目 不登校対策 など

環境施策

問脱炭素化のさらなる推進には、より一層の区民の意識啓発が必要だと考える。水素ステーションの設置などCOP28で脱炭素化の講演をなされた区長にふさわしい施策の展開を期待しているが、区長の見解を伺う。

答脱炭素社会の実現には、あらゆる場面・分野において意識改革を進めていくことが大切である。特に日常生活において区民一人一人が脱炭素を自分事として意識していくことが極めて重要である。今後も脱炭素をさらに推し進めていくために、水素ステーションの誘致の検討など、新たな施策にも積極的に取り組んでいく。

※他の質問項目 全国みどりと花のフェアかつしか など

人事

問昨年度末には、役職定年となる職員の後継者の人生にも関わるような出来事があった。組織の成立要件の一つと言われるコミュニケーションの欠如からなるこのような事案が職員のモチベーション低下につながると危惧するが、区長の見解を伺う。

答本件は、コミュニケーションの欠如によるものではなく、本区が持続的な区政運営を行っていくために必要な対応をしたものであり、他の職員のモチベーション低下につながるようなことはないと考えている。

※他の質問項目 例外的措置 など

区長選

問改めて区長選出馬の意志と、バルサアカデミー葛飾校の問題などに収束の目途が立たない状況の中、選挙戦を通して4期16年の総括と今後の区政運営のビジョンをどのように示すのか伺う。

答本区が直面している課題を着実に解決すると同時に、常に10年20年先の未来を形作る視点で、区議会と議論を重ね、区民や事業者との協働により区政を進めてきた。今後も、これまでの取り組みをさらに発展させ、多様性を尊重し、子どもから高齢者まで誰もが安全で安心していつまでもいきいきと暮らせる葛飾の実現のため、新たな課題にもチャレンジする姿勢で、積極果敢に取り組んでいく所存である。来るべき選挙に出馬し、区議会と協働しながら引き続き区政を担っていききたいと考えている。

無所属（※4）

確実な職員の確保と負担軽減で質の高い持続可能な区政運営を

生活保護費の過誤と対策

問福祉事務所職員の負担軽減、増員が必要と考えるがどうか。

答国から生活保護受給世帯数に対するケースワーカーの標準数が示されて

いる中、生活保護受給者の抱える課題は多様化している。本区では、東西生活課に就労支援などの専門的な業務に外部委託事業者などを活用して、職員の負担軽減を図っている。今後も保護受給者に寄り添いながらきめ細やかな支援を行えるよう業務体制を整えていく。

※他の質問項目 昨年度まで過誤に気づくことが出来なかった原因 など

安定的な区職員の確保

問現場の経験・知識を身につけた職員を育成し、安定的な公共サービスの質を保つことが必要である。区職員への応募数を上げ、退職を止め、確保するための賃金体系や労働環境改善が重要と考えるが、本区の考えを伺う。



葛飾区総合庁舎

答行政需要が増大する一方で特別区への志願者数は相対的に減少している。また、区役所に限らず民間も含めて転職が盛んになっており、今後は勤務先として選んでもらうことが重要となる。そのためには、給与水準や労働環境の改善に加え、改めて区役所における仕事の意義を丁寧に伝えながら、やりがいを高めてもらうこと

で職員の確保に努めつつ生産性の向上を図り、質が高く安定的な区民サービスの提供につなげていきたいと考えている。

※他の質問項目 会計年度任用職員の正規雇用化 など

4年間の任期を振り返って

11月12日をもって、議員の任期が満了となります。そこで、任期を振り返り、各会派からのメッセージをお届けします。

自由民主党議員団

日頃より、自由民主党議員団に多くのご支援やご意見をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。

私たち自由民主党議員団は、この4年間、「葛飾区に住んでよかった」と心から思えるまちづくり、そして「葛飾区に住んでみたい」と多くの方に選ばれるまちづくりを目指し、全力で取り組んでまいりました。この4年間は、世界中で猛威をふるったコロナ禍からの脱却を図る中、世界的な物価高騰が区民の皆様の生活に大きな影響を及ぼすなど、まさに激動の時代でした。私たちは、国の施策である定額減税や給付金事業等の物価高騰対策を推進するとともに、区独自の子育て世帯への給付金上乗せや、プレミアム付商品券、キャッシュレス決済ポイント還元事業による消費喚起と地域経済の活性化など、社会経済状況の変化を的確に捉え、区民生活に不可欠な対策をスピーディーに実現してまいりました。また、私たちは葛飾区の持続可能な未来を見据え、多岐にわたる分野で成果を積み重ねてまいりました。子育て・教育の分野では、区立小・中学校給食費の完全無償化を実現するとともに、保育料の無償化、出産応援給付金の創設、葛飾区児童相談所・一時保護所の開設などを推進してまいりました。健康づくり・福祉サービスでは、くらしのまごこと相談窓口を新設するとともに、各種予防接種の助成拡充、モンチャレを活用した健康促進、全てのがん検診の無料化など、区民の健康と安心を支える体制強化を推進してきました。防災・防犯対策においては、住まいの防犯対策助成や感震ブレイカー設置支援など、区民の生命と財産を守る取組強化を図

かつしか区民連合

つてまいりました。産業・環境・まちづくりでは、スタジアム整備に向けた私学事業団総合運動場の取得やこち亀記念館の開設など、本区の魅力向上と地域のにぎわい創出につながる取り組みを推進するとともに、エコ助成金制度の拡充、総合庁舎の整備、新金線の旅客化に向けた検討など、未来の葛飾区を見据えたまちづくりを着実に推進してきたところです。さらに、窓口でのキャッシュレス決済導入や生成AIの活用検討など、行政サービスのDXについても推進してまいりました。

自由民主党議員団は、皆様からお寄せいただいたご意見ご要望を真摯に受け止め、区内各地域の課題解決をはじめ、区全体の更なる発展を目指す葛飾区の責任政党として、政策を押し進めます。これまでの実績を礎に、これからも区民の皆様がいつでも安全・安心に暮らし続けられるまちづくりに邁進することをお誓い申し上げます。

葛飾区議会公明党

区民の皆さまには日頃より多大なるご支援を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。葛飾区議会公明党は子どもから高齢者まで全ての方々に「住んでよかった葛飾」「住み続けたい葛飾」を目指し施策を提案、実現をしてまいりました。この4年間は新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げ、区や医師会の皆さまと連携し、さまざまな施策を推進、コロナ禍の収束に尽力してまいりました。この間の経済対策として区内中小企業・小規模事業者への支援では、新型コロナウイルス対策緊急融資や経営改善設備資金融資など、事業者の方への融資あっせんや経営改善設備資金融資などを通じて区内中小

みらい葛飾(生活者ネット・無所属)

区民の皆様には日頃よりみらい葛飾(生活者ネット・無所属)にご支援やご要望を賜り心より感謝申し上げます。私たちは区民のための政治を進めるために会派を結成し、常に区民の立場に立ち、是々非々で臨んでまいりました。一般質問や各委員会等への参加に加え、会派を組むことで参加できる代

無所属(※1)

4年間、周囲の皆様を支えていただき感謝申し上げます。私はこれまで、無駄を見直し、福祉・教育・子育て支援などを最優先に活動してきました。しかし、物価高など、新たな課題が生まれています。今後は、これまで以上に予算を効果的に活用するワイズ・スペンディング(賢い支出)を心掛け、誰もが安心して暮らせる葛飾区を目指して、取り組んでまいります。

無所属(※2)

4年間、地域の方々と共に様々な施策を実現しました。トイレ環境の向上では学校や公共施設の共用トイレを解消し、洋式化・バリアフリー化を推進。防犯対策ではカメラ保守・更新予算の確保や街路灯増設、公園の防犯強化。防災では公園拡張により消火車格納庫を設置し火災対応を強化。経済活性化ではポイント還元や事業者支援の延長を実現。今後も粘り強く取り組みます。

無所属(※3)

区民のみなさまの温かいご支援と、貴重なご意見に支えられ、この4年間地域課題の解決に全力で取り組んでまいりました。心より感謝申し上げます。物価高騰支援、防災DXの推進、自治町会回覧板アプリの構築、奥戸物流施設計画では引き続き安全対策の徹底を、西新小岩五丁目地区防災街づくり等、ふるさと葛飾をもっと暮らしやすいま

無所属(※4)

多くの方々に支えられ、活動を続けることが出来ました。さまざまなご意見や要望を伝えてくださった区民の皆様には感謝いたします。中でも、この任期中は生活困窮のご相談が増え、日々の生活の安定と、いざとなった時の支援体制の構築で区民福祉向上に取り組んで来しました。区民がどのような状態にあっても、命と生活を守る区政運営を今後も求め活動してまいります。

無所属(※5)

全国的に猛威をふるったコロナも沈静化したかのように思えたが、なお予断は許されない状況である。更に追い打ちをかけるがとくくの異常な物価高騰によって、低所得者は未だ経験したことのない貧困との闘いを強いられる。エアコン・ガス・電気を節約するなどして、家計のやりくりが苦慮している昨今である。この4年間は困難に等しい。今こそ青木区政に期待する。



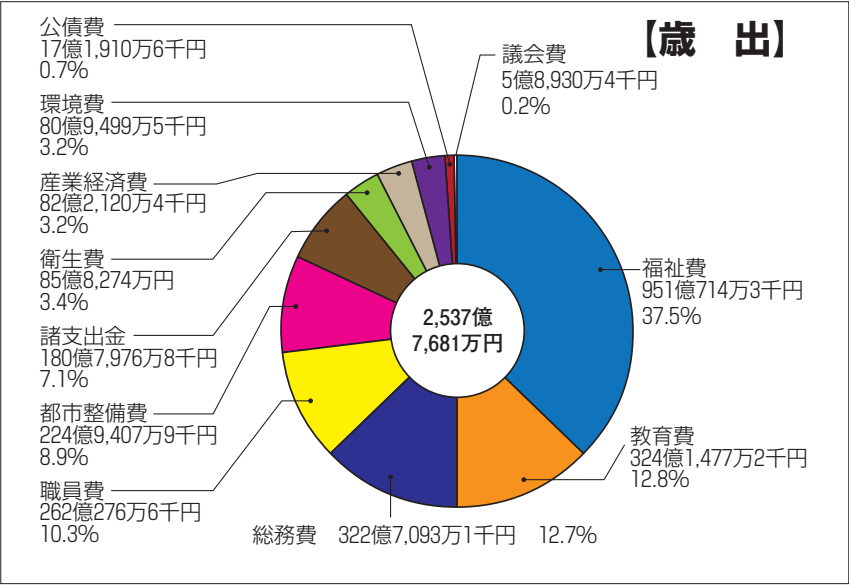
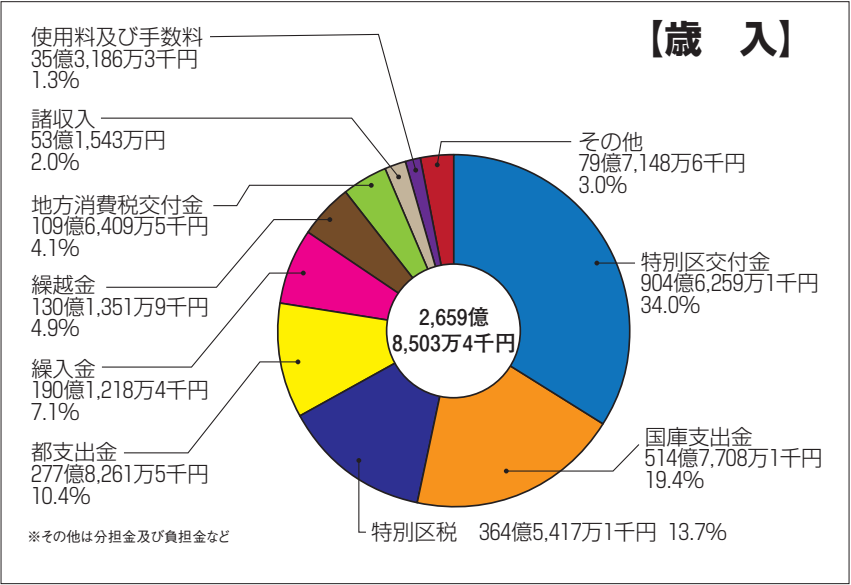
令和6年度各会計決算

	歳入決算額(円)	対前年度 伸び率	歳出決算額 (円)	対前年度 伸び率	歳入歳出差引額(円)
一般会計	265,985,034,215	4.8%	253,776,809,571	5.4%	12,208,224,644
国民健康保険事業特別会計	44,624,871,664	-3.1%	44,124,066,249	-3.4%	500,805,415
後期高齢者医療事業特別会計	12,358,812,238	4.3%	12,358,812,238	4.3%	0
介護保険事業特別会計	44,794,210,019	2.5%	43,806,359,457	1.2%	987,850,562
用地特別会計	323,394,065	-99.0%	323,394,065	-99.0%	0
駐車場事業特別会計	671,170,374	-1.6%	671,045,454	-1.6%	124,920
合計	368,757,492,575	-5.2%	355,060,487,034	-5.4%	13,697,005,541

9月11日の本会議において、令和6年度各会計歳入歳出決算6件を審査するため、35名の議員で構成する決算審査特別委員会が設置されました。決算の審査は、第1から第4までの各分科会において詳細に行われ、その後、決算審査特別委員会において、各会計決算についての採決を行い、いずれも認定すべきものと決定し、10月7日の本会議において認定されました。

決算審査特別委員会
令和6年度決算を審査

一般会計



令和6年度決算に対する各会派の意見

この面から7面まで、令和6年度決算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

区民の暮らしを守る
持続可能な施策の推進を

総務費について、総務管理費の総合庁舎移転に関する経費は利子や現庁舎の跡地の活用にかかる経費も考慮して積み立てをしていくべきであり、長期的な視点での財政運営が強く求められる。リリオ亀有リノベーションプロジェクト事業費負担金は、事業開始時の効果が出るよう引き続き改善を求める。電源供給車の購入を検討し、さらなる災害対策強化を求める。区民費では証明書のコンビニ交付の利用率を上げるための周知や、区民事務所での手続きの周知も強化し、区民事務所も含めた混雑緩和を同時進行で目指すよう求める。産業経済費について、葛飾納涼花火大会負担金について、路上販売のごみ対策を講じるべき。また、他区を参考に民間企業と協力し区の予算を抑えての開催ができるよう検討を望む。

福祉費では、熱中症予防対策支援経費は、訪問時の生活相談も必要であり、支援につながるため、継続を要望。子ども発達センター事業経費は、不足する作業療法士や理学療法士の確保に向け、大学などへ職員確保への動きを望む。高齢者福祉施設等運営基盤強化経費は、今後、人材不足が課題であり外国人介護士の活用を含む働きやすい職場環境支援を求める。送迎保育ステーション運営業務委託費は、地域偏在解消の効果や一人当たりのコストを踏まえ地域保育園の在り方を見直すべき。子ども未来プラザ建設経費は、子ども未来プラザ白鳥と隣接する公園のなるべく早い竣工を願う。衛生費では、自殺対策事業経費は、自殺を未然に防ぐ居場所づくりやコミュニティ、相談先の周知など、各部署が横断的に連携して取り組むことを要望。健康づくり健康診査経費は、区民の健康寿命延伸や医療費削減のため、ZOOM等のオンライン導入やAI技術を取り入れ、保健指導につなぐ工夫を求める。

環境費では、今後本区の運営に多額の起債が続く現況の中で、令和8年度の全国みどりと花のフェアかつしかの開催に向けて総額約13億円という計画は見直すべきである。清掃費では資源回収経費で、リデュース（発生抑制）の意識改革の推進も求める。また木製家具の資源化の具体的なスキームの検討を要望する。

都市整備費では、かつライドの実証運行を受けて今後西亀有四丁目をはじめとする地域住民のニーズに応えられるよう見直し検討を要望する。交通安全対策費ではお花茶屋公園内の放置自転車対策をはじめ、各地域の自転車駐車場の課題解決を求める。河川費では中川かわまちづくり事業は水辺で憩える空間をつくるよう要望する。

教育費では科学教育センターは社会教育と学校教育が連携して、さらなる施設利用の呼び掛けを要望。現在の臨海教室は海だけに限らず従来の二泊に戻し、さらなる充実・改善を要望する。保田しおさい学校の職員配置は教育委員会管理のもと見直すべき。小中学校常設の冷水機は、体育館付近にも設置し運動時効率的な水分補給可能な環境整備と、併せて各学校に支給されたテントは必要な学校へは追加支給を行い熱中症対策の推進を要望。断熱改修工事は積極的な取り組みを要望。ジュニアリーダー講習会、少年キャンプは近年の参加者増に伴う予算の見直しを要望。河川敷のベンチには屋根の設置、水道は散水のできる蛇口への交換、夏のグラウンドは使用時間の制限など熱中症対策を強化すべき。時代で変化するさまざまなスポーツ環境に対応した整備を柔軟かつ迅速に行い、今後のスポーツ施設の再編を積極的に進めていただきたい。特別会計は了とする。

葛飾区議会公明党

区民第一の施策の推進とともに
安全・安心の区政運営を！

総務費では家具転倒等防止対策経費について自助力強化のために助成対象

の拡大を求める。個別避難計画について策定の対象外であっても在宅酸素療法を受けている方など個別的対応が必要な方への支援を望む。都が「葛飾モデル」として事業化を進めている液化対策はさらなる周知と実効性のある施策に拡大することを望む。啓発活動等も含めて防犯強化のために地域団体による防犯カメラ設置推進を求める。

住まいの防犯対策助成制度の継続を求める。防犯性の高い錠や補助錠の設置普及に向けた取り組みを望む。産業経済費では中小企業の「稼ぐ力」を伸ばすために、ものづくりやIT導入などの補助金制度の拡充を望む。物価高騰対策では支援金支給事業の継続を望む。デジタルプレミアム付商品券「かつしかPAY」については伴走的な相談支援体制を構築し、取り扱い事業者の拡大を望む。

福祉費では聴覚障害を持つ方が区主催のイベントや会議に安心して参加できる環境を整えるため、手話通訳による「情報保障」の充実を求める。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域とのつながりや社会参加を通じて生きがいを感じ、健康で充実した生活を送れるよう継続的な支援を求める。介護分野のICT化促進のためケアプランデータ連携システム導入にあたっては、現場のニーズに寄り添ったきめ細やかな対応を求める。

衛生費では、看護師等養成のため、区の医療資源の一つである医師会附属看護専門学校に対し、生徒募集の周知の工夫など区として応援してどうか。自殺対策としてゲートキーパー養成講座のさらなる充実と心のサポーター養成講座の導入、心の健康をチェックできるアプリ「KOKOROBO」の周知を望む。子宮頸がん検診について受診行動の負担を軽減することができるHPV検査単独法の導入を求める。

環境費では全国みどりと花のフェアかつしかについて区民一体となった機運醸成と周知を求める。近年厳しさを増している酷暑時における荒川河川敷・江戸川河川敷、屋外スポーツ施設利

用に際し、熱中症警戒アラート発出時の利用制限やそれに伴うキャンセル時の料金の緩和策などを含めた対応について環境課を中心とした検討を求めるとともに庁内を横断する対応を求める。

都市整備費では新金線旅客化事業について区民に分かりやすく検討の推移の説明と周知を行い、新たな交通システムの構築を目指す整備構想の方向性を示すことを求める。環七通りの無電柱化工事や区道の歩道修繕に伴う断続的に行われる掘削作業等の仮舗装を含め、バリアフリーの観点から丁寧な作業が行われることなどを強く要望する。

教育費では食育について児童・生徒の心身の健やかな成長が体力・学力・食育の推進を強く求める。盆踊りや東京音頭など葛飾区が誇る地域文化を、小学校の体育や道徳の授業に取り入れることで子どもたちが郷土の伝統に親しみ、地域の誇りとつながりを育む教育的効果が期待されることから、教育委員会と小学校、地域団体が連携し実践的に取り組むことを求める。支援が必要な児童・生徒をサポートするクラス支援員の配置は、小中学校と保護者の双方に有益な支援となるため、配置校を増やすなど児童・生徒に寄り添った支援の拡充を求める。にいじゅくプレイパークは遊具などの老朽化が著しいことから、リニューアルに向けた予算の措置を求める。

各特別会計は、概ね了とする。

かつしか区民連合

区民目線の体制構築と、将来を見据えた効果的かつ計画的な区政運営を

総務費 公文書管理はアーキビストの配置を評価し今後は研修強化を求む。匿名加工情報の不適切な取り扱い事例は再発防止を求む。庁舎の全面停電は危機管理上問題があり管理徹底を求む。国際交流は外国人人口の増加を踏まえ文化と国際を分けた組織体制を求む。協働推進経費は団体活動をデータベース化しポータルサイトからアクセスが

出来る形を求む。避難所運営は合理的配慮を考慮した訓練を求む。行財政改革は基金、起債のバランスを考慮しながら事業全体を見直し財源確保に努めよ。消防団助成は熱中症対策として増額助成をしたが執行されておらず、消防署へ注意を求む。地域活動団体助成は実情に合わせた助成枠の創設を求む。

産業経済費 オープンファクトリーは事業効果が高いので今後も積極的取組を求む。

福祉費 家族介護者支援事業は、相談窓口への声を活用せよ。重度障害者の受入拡充を都や国に交渉し一層のグループホーム整備を要望。葬祭費は区民負担が近隣市並みになるよう求む。高齢者介護予防は、認知症予防の一環として健康麻雀等で医療・介護・地域連携の実施を求む。送迎保育ステーションや子育てひろばの検証、マタニティパスは移動支援の工夫を求む。私立幼稚園運営費の特別支援教育は少人数・グリーゾーンも含め支援拡充を要望。児童相談所は、評価手法を再検討し葛飾区の子どもは葛飾区で守る初心徹底を求む。子ども食堂は広報強化を要望。

衛生費 看護師等養成事業費助成は、地域医療崩壊にならぬようさらなる支援を求む。自殺対策はゲートキーパーの活用と相談しやすい窓口整備を。

環境費 環境推進費の全国みどり花のフェアかつしかは、効果・収入見込・レガシーなどを区民・議会に改めて示すよう強く要望。屋上・壁面緑化推進事業は、既存住宅への普及や周知拡充、補助制度の実効性改善を求む。

都市整備費 都市整備管理費の民間建築物アスベスト対策工事費助成は執行がゼロである。助成対象をレベル1の住宅系に加え国へ働きかけて調査助成だけでもレベル3までを対象に含めるよう要望。青戸六・七丁目地区街づくり事業は、公園拡張予定地のお墓移転をスピード感を持って明確なスケジュールを提示すべき。新小岩駅周辺まちづくりは北口地区のまちづくりを進めるにあたって都営西新小岩一丁目アパートや東京聖栄大学のまちづくりの議

論参加や支援の在り方の検討を要望。堀切地区街づくりは、歩行環境改善の早期解決に向けた取り組みを要望。

教育費 水泳指導充実は方針と実施計画更新に議会等の意見反映を強く求む。教育費全般の支援策は、運営母体によらず子ども・保護者目線で整理せよ。学習センター学校図書館は学校司書等の体制整備を求む。特別支援教育推進では区として青戸中難聴学級の講師継続を求む。にほんごステップアップ教室は区北部へ増設を求む。不登校対策はさらなる充実を求む。学校施設はその時の需要に応じて柔軟に活用すべき。いじめ防止は相談しやすい信頼関係構築せよ。学力向上は上昇傾向に転じたことを評価しさらなる人材活用を。特別支援学校経費は時代に則した入校基準の検討を求む。学校施設解体はアスベスト除去を含め補助金確保を区長会から国へ強く要望し、ゼロエミへ学校施設の断熱対策も進めよ。地域教育費ではコミュニティスクールの体制整備を求む。図書館は計画的な取組が必要。博物館は基本的運営方針の策定を急げ。バルサ関連の意思決定過程の記録が課題。各特別会計は概ね了とする。

日本共産党葛飾区議会議員団

前年度の予算の使い残り12億円
物価高騰から区民の暮らし最優先に

前年度決算は、長引く物価高騰の下で、苦境に立たされている区民生活や中小零細企業への切実な要求に応えたものになっていません。

国保・後期高齢者医療、介護保険料を値上げしたことは、区民生活を一層圧迫することになりました。区独自の生活給付金も実施せず、中小企業への給付も増額せず背を向けてきました。

学童保育クラブは、待機児童数が500人を超えているのに、その解消に見合った増設に背を向けていることは容認できません。それどころか、待機児童を少なく見せる操作をしてきました。

特別養護老人ホームの待機者は、1千100人以上となっているにもかかわらず、新規整備をする計画がありません。スフィア基準に基づき避難所に全国各地を、厳しい災害が次々に襲い、不安が広がっています。災害時の避難生活であっても、尊厳あるスフィア基準に基づいた避難所運営とすることが重要です。ベッド、トイレ、キッチンなど計画的な確保の要求をしても在宅や縁故避難を強調していることは問題です。

水泳授業の民営化は完全に破たん
学校外の屋内温水プールでの水泳授業では、児童や教員の移動の負担があり、同時にバスの確保も困難となり持続可能な水泳授業が保障できません。学校改築時に、屋内温水プールを整備して、近隣校が共同利用できるようにすべきです。

ところが、新宿地区に33億5千万円、お花茶屋地区には、49億円で学校外の屋内温水プール建設を、結論ありきで強引に進めることは問題です。

区庁舎移転の見直しこそ
立石駅北口再開発の事業費が、物価高騰により増え続けています。各地で再開発の見直し・再検討が広がっていますが、立石駅北口では、庁舎移転のビルの保留床価格が、すでに、352億円になっています。今後、積立てを増額するだけでなく、借金をしてでも進めようとしています。このままでは、税金がいくら投入されるのか分かりません。工事契約もこれからであり、今なら見直しができます。

立石だけでなく区内各地の再開発や東新小岩運動場のスタジアム建設など、大型開発優先では暮らしは守れません。バルサアカデミー葛飾校をめぐる青木区長がバルサのサッカースクー

ルを誘致したいがために、一般財団法人キッズチャレンジ未来を立上げ、4億円もの税金投入でグラウンドを整備し、最優先させてきたことは問題です。しかし、「キッズチャレンジ未来」の不透明な財政運営、事業譲渡などが発覚し、第三者委員会で事実解明の調査が始まりました。区長はその事実を知らないはずがなく、問題の責任は区長に

あります。

区長の肝いりで立ち上げた法人を特別扱いして、トレーラーハウスも破格の2千500円で使用させたことも問題であり、裁判になっています。

倫理観が問われる青木区政
寄付者には区の事業を委託している法人、工事を受注している役員が多く、たとえ個人献金であっても、自治体の長としての倫理観が問われています。区の事業に関わる法人役員からの献金の受け取りはやるべきです。

基金の積立ては暮らしに
1千300億円の基金について、大型開発優先なのか、暮らし優先なのかが問われています。学校給食無償化に続き、小中学校の入学準備金の支給、お米券の配布、電気代の助成、シルバーパスの負担軽減など区民生活を守るために頑張ります。

みらい葛飾(生活者ネット・無所属)
区民の信頼と合意に基づく持続可能な区政の実現を

総務費 新庁舎整備において、庁舎棟が国交省の物価スライド方式による契約となり、結果として青天井の支出につながりかねない点は問題。西棟においては、協議によつて建築費の調整を行っていること著しく不均衡であり、庁舎棟についても同様に協議条項を盛り込み、適正な費用管理が図られるよう強く求める。職員通勤手当の調査については依然として不十分であり、区民の大切な税金を扱っているとの強い自覚をもって、より厳格な管理体制を構築し、区民の信頼回復に努めるよう要望。

福祉費 障害分野のケアマネジメントを担う相談支援専門員を増やし、障害者・障害児の相談支援の充実を要望。地域での暮らしを支える介護従事者の不足は深刻さを増している。具体的な人材確保策を早急に検討し実行するよう強く要望。子どもの権利擁護事業については、子ども向けホームページやオンラインフォームの整備が一定進ん

でいるものの、相談件数は依然として少なく、子どもの意見も聴きながら子どもが安心して意見を表明できる仕組みへの改善を求める。ショートステイ・トワイライトステイ事業をきょうだいのレスパイト(休息)のために使いたいという区民からの声がある。ヤングケアラー支援の一つとして、きょうだい児のための支援の検討を求める。

衛生費 地域猫活動については、地域住民と連携した学習会や広報活動を通じ、理解と協力をさらに広げていくことを要望。

都市整備費 新金貨物線の旅客化について、鉄道やLRT案を断念した上でBRT方式が提示されているものの、実現の時期が未だ示されていない。区民の関心も高い事業であることから、早期に具体的なスケジュールを明らかにするよう求める。東金町一丁目西地区再開発事業により開業した「マークイズ金町」に関しては、屋上使用料が極めて低廉であるうえ、規約内容も特定地権者に有利となっており、公費230億円を投入した事業として看過できない問題である。公共施設管理者負担金の増額、すなわち約15億円の追加負担については、その内訳を区民に対して明確に示すよう要望。

教育費 デジタル版MTMについて、教育現場での効果的な活用を図るとともに、必要とする児童が家庭でも利用できるよう、保護者への積極的な情報提供を求める。小学校の水泳指導は、課題を整理し、学校内への屋内温水プールの設置も含めた持続可能な方法の検討を求める。不登校や病気などの理由で給食を食べることができない子どもへの昼食支援を求める。「ふれあいスクール明石」に通う子どもに対する給食費相当額の補助を求める。学校現場には香害に関する相談が寄せられており、個別対応を周知するとともに、校内での香り製品の使用を減らす取り組みを要望。気候危機は深刻な状態にあり酷暑対策とともに脱炭素対策が必要である。寒暖の差がない静かな学習環境を保つためにも、既存学校の断熱

を要する。

都市整備費 新金貨物線の旅客化について、鉄道やLRT案を断念した上でBRT方式が提示されているものの、実現の時期が未だ示されていない。区民の関心も高い事業であることから、早期に具体的なスケジュールを明らかにするよう求める。東金町一丁目西地区再開発事業により開業した「マークイズ金町」に関しては、屋上使用料が極めて低廉であるうえ、規約内容も特定地権者に有利となっており、公費230億円を投入した事業として看過できない問題である。公共施設管理者負担金の増額、すなわち約15億円の追加負担については、その内訳を区民に対して明確に示すよう要望。

教育費 デジタル版MTMについて、教育現場での効果的な活用を図るとともに、必要とする児童が家庭でも利用できるよう、保護者への積極的な情報提供を求める。小学校の水泳指導は、課題を整理し、学校内への屋内温水プールの設置も含めた持続可能な方法の検討を求める。不登校や病気などの理由で給食を食べることができない子どもへの昼食支援を求める。「ふれあいスクール明石」に通う子どもに対する給食費相当額の補助を求める。学校現場には香害に関する相談が寄せられており、個別対応を周知するとともに、校内での香り製品の使用を減らす取り組みを要望。気候危機は深刻な状態にあり酷暑対策とともに脱炭素対策が必要である。寒暖の差がない静かな学習環境を保つためにも、既存学校の断熱

を要する。

都市整備費 新金貨物線の旅客化について、鉄道やLRT案を断念した上でBRT方式が提示されているものの、実現の時期が未だ示されていない。区民の関心も高い事業であることから、早期に具体的なスケジュールを明らかにするよう求める。東金町一丁目西地区再開発事業により開業した「マークイズ金町」に関しては、屋上使用料が極めて低廉であるうえ、規約内容も特定地権者に有利となっており、公費230億円を投入した事業として看過できない問題である。公共施設管理者負担金の増額、すなわち約15億円の追加負担については、その内訳を区民に対して明確に示すよう要望。

教育費 デジタル版MTMについて、教育現場での効果的な活用を図るとともに、必要とする児童が家庭でも利用できるよう、保護者への積極的な情報提供を求める。小学校の水泳指導は、課題を整理し、学校内への屋内温水プールの設置も含めた持続可能な方法の検討を求める。不登校や病気などの理由で給食を食べることができない子どもへの昼食支援を求める。「ふれあいスクール明石」に通う子どもに対する給食費相当額の補助を求める。学校現場には香害に関する相談が寄せられており、個別対応を周知するとともに、校内での香り製品の使用を減らす取り組みを要望。気候危機は深刻な状態にあり酷暑対策とともに脱炭素対策が必要である。寒暖の差がない静かな学習環境を保つためにも、既存学校の断熱

を要する。

都市整備費 新金貨物線の旅客化について、鉄道やLRT案を断念した上でBRT方式が提示されているものの、実現の時期が未だ示されていない。区民の関心も高い事業であることから、早期に具体的なスケジュールを明らかにするよう求める。東金町一丁目西地区再開発事業により開業した「マークイズ金町」に関しては、屋上使用料が極めて低廉であるうえ、規約内容も特定地権者に有利となっており、公費230億円を投入した事業として看過できない問題である。公共施設管理者負担金の増額、すなわち約15億円の追加負担については、その内訳を区民に対して明確に示すよう要望。

教育費 デジタル版MTMについて、教育現場での効果的な活用を図るとともに、必要とする児童が家庭でも利用できるよう、保護者への積極的な情報提供を求める。小学校の水泳指導は、課題を整理し、学校内への屋内温水プールの設置も含めた持続可能な方法の検討を求める。不登校や病気などの理由で給食を食べることができない子どもへの昼食支援を求める。「ふれあいスクール明石」に通う子どもに対する給食費相当額の補助を求める。学校現場には香害に関する相談が寄せられており、個別対応を周知するとともに、校内での香り製品の使用を減らす取り組みを要望。気候危機は深刻な状態にあり酷暑対策とともに脱炭素対策が必要である。寒暖の差がない静かな学習環境を保つためにも、既存学校の断熱

を要する。

改修を要望する。
介護保険事業特別会計 高齢者が身近に気軽に集え、楽しめる場を求めている。高齢者の居場所づくり支援を求める。

用地特別会計 新小岩駅周辺で懸念される混雑や交通渋滞、住環境への影響について、国内スタジアム建設の先行事例を参考にした丁寧な情報提供を行い、住民の理解と合意形成を丁寧に進めながら事業を推進するよう求める。その他の特別会計については、これを了とする。

無所属（※1）

「福祉・教育」の充実と、財政健全化を両立させよう！

私たちが生活する中で、「福祉」と「教育」はとても大切なものであり、出来る限りの予算と人員配置をしたいと多くの議員が願っている。しかし、財政には限度があり、それらを要求するだけでは単なるパフォーマンスである。財政健全化をしていてこそ、そうした「福祉」「教育」の充実が長年に渡って可能となることを忘れてはならない。葛飾区の「財政健全化判断比率」を見ると、「実質赤字比率」は100億円の黒字であり、「連結実質赤字比率」も、15億円の黒字を計上している。さらに「将来負担比率」も、将来負担すべき額が682億円に対し基金残高等の充当可能財源が2千50億円ほどあることから、こちらも黒字と考えてよい。他方、「実質公債費比率」は、私学事業団総合運動場用地取得のために発行した特別区債の元金償還額を減償基金に積み立てたことで△0.％となったことは唯一の懸念事項ではあるが、他の特別区と比較しても、極めて健全な財政状況を維持できている。

こうした財政状況の中で、総務費・産業経済費において「区民と事業者の健康活動促進事業」、福祉費において「障害者施設の拡充支援」、教育費において「かつしかチャレンジプログラム」等の事業を新規に立ち上げていた

だいたことや、衛生費で「感染症対策の強化」、教育費で「発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実」・「不登校対策のプロジェクト」・「日本語指導の充実」等の事業をより拡大していただいたことは、高く評価したい。同時に各特別会計についての執行も適切であると考える。

無所属（※2）

次世代へつなげる効果ある投資を

災害対策費は、外国人増加に伴う言葉の壁やマナー、宗教上の避難所トラブルを懸念。マニュアル作成と外国人区民への自助・在宅避難の周知を求む。外国人相談経費では、ゴミ出し騒音の明確な案内を都度行うべき。民泊利用の外国人旅行者増加に伴い、区は住民と事業者の間に立ち、当事者を直接会わず慎重に対応を。各部署や警察との連携も必須。施設トイレ改修は区民財産として評価。女性防災経費は参加者の少なさが課題。リモート活用やLINE等による広報フィードバックで参加者の掘り起こしを。女性消防団員との連携強化も必要。地震ブレイカー助成は初期申請を諦めた層へのピンポイント対応を。SDGsは既に浸透しており冊子削減、LINEアイコンのSDGs削除も再度要望。家具転倒防止器具助成の対象拡大と増額を求める。人材確保・定着支援事業を高く評価し、女性・高齢者を含む従業員が働きやすい環境整備を継続・周知すべき。有料ごみ処理券経費は、民泊ごみに住民が対応する問題があり、保健所と連携しマニュアル作成を急げ。全国みどりの花のフェアかつしかは税投入が大きく、駅前には花を配置し景観向上を図れ。本庁舎から近いガーデンへの誘導看板設置も工夫が必要。かわまちづくり事業では街路灯やベンチのデザイン性、シンボルモニュメントや地域歴史看板の要望あり。まちへの愛着に繋がる取組を。区教委と連携し「こうりたいまち」を生徒と話す場を設けよ。東京

ガス跡地の早期決着、水元のサイクリングロード整備、高砂団地跡の車庫移転による防犯懸念への配慮、街路樹整備や夏の環境対策にミスト活用も求む。

無所属（※3）

区民の声で築く、安心・安全なまちづくり

総務費では、自治町会への防災資器材助成が従来の現物支給方式では差金の発生や納品遅延といった課題があったが、令和7年度から補助金方式が追加導入されることで予算の有効活用や迅速な調達、選択肢の拡大に期待する。（仮称）葛飾区奥戸物流施設に設置される備蓄倉庫は輸送課題にも対応し得る地域の拠点倉庫として活用でき、区全体の備蓄量増加に資する重要な施設と考え、今後も東京都との連携や補助制度を積極的に活用し、倉庫の有効活用とあわせ区民の安全・安心を確保する災害対策の着実な推進を求める。産業経済費では観光案内マップについて、SNSなどデジタル媒体と並行して携帯しやすい形式で作成し、区内外の駅や商業・宿泊施設での配布拡充、定期的な更新で情報の鮮度を保つことを要望する。都市整備費では新金線旅客化について、南北交通の利便性向上や沿線まちづくりに大きな効果が見込まれるなど、区民の長年の要望であり、住民説明会ではLRTを希望する意見が多く寄せられている。LRTは宇都宮市の事例のように次世代型都市交通として地域活性化や都市の魅力向上に大きく貢献しシンボル性も高いと評価されているが、BRTでも同様の効果が得られるのか慎重な検討を求める。（仮称）葛飾区奥戸物流施設計画では、補助284号線が物流施設にとつて主要動線である一方、地域の生活道路でもあり通学時間帯の流入制限や横断歩道の安全強化など道路整備と運行管理の両面で安全を担保することが不可欠であり、周辺地域住民や学校、行政、事業者が協議する場を設け継続的に安全対策の検証・改善を行うことを求める。

無所属（※4）

負担を減らし、働く人の処遇改善と安定雇用で生活を支える区政を

会計年度任用職員について、休暇制度の有給化・時給引き上げ及び経験加算を設け、処遇改善を求める。会計年度任用職員の正規職員へ採用枠を設けるなど正規化を求める。リリオ亀有リノベーションプロジェクト事業費負担金は「リリオ・駅前のにぎわい創出とシャワー効果」の具体的な検証結果を早期に出すこと、民間ベースの運営へ見直しを求める。総合庁舎整備について、位置条例可決時と状況が大きく変化したため、整備費増加の周知と区民意見を求めることが必要。再開発事業の財政支出の見直しが必要。外国人各種相談ではごみ出しルールの周知等、多文化共生・住みよい地域の両立に、一層注力する必要がある。地域防災活動支援経費の助成拡大、物価高騰を鑑みた区民生活の負担軽減に資する各種助成の拡大を求める。公共交通の維持・路線バスの運行への支援検討を求める。生活困窮者支援の強化と住まいを安定的に確保できる仕組み、公営住宅の増加を求める。生活保護・生活支援等、区民が必要な支援にスムーズにつながるよう、制度の広報と相談対応体制を強化すること。給付型奨学金の規模や財源確保について、先進事例を研究し、区独自の制度創設を求める。学童保育クラブ待機児童解消について、公立での設置も併せて検討するべき。介護保険事業特別会計では介護事業所への支援、介護職員・ケアマネジャーの確保・定着に対する処遇改善の支援を区独自で行う必要がある。保険料負担を下げるために国庫負担の引き上げを国に求めること。保険料引き上げによる区民負担増は認められない。

無所属（※5）

異常気象による高齢者の熱中症対策は、徹底せよ

令和6年度の予算執行は、適正かつ妥当である。まず、近年の異常気象は国内はもとより世界中で災害の猛威を奮い、犠牲者が絶えない。また今までにない最近の夏の高温は、高齢者や体力のない弱い人にとって耐えがたい日々の生活である。そのため、徹底した熱中症対策を求めるものであり、青木区政に期待して止まない。以下、主要な項目について意見を述べるが、区政運営の一助となれば幸甚である。総務費 災害対策本部運営の強化として、備蓄管理の防災DX化を推進し、備蓄品の種類と数量の把握、動線の確保や整理をすることで、迅速に区民へ物資を配布でき、有効である。

福祉費 認知症は「国民病」とも言われ、高齢者の3.6人に一人が認知症、またはその予備軍と言われている。本区が医師の問診や検査を受けられるように取り組んでいることは、大いに評価する。さらなる受診率向上に努めていただきたい。次に、障害者の就労支援について、徐々に向上していることは評価する。一方、障害者の賃金は十分なものとは言いがたい。さらなる賃金向上に努めるよう求める。

都市整備費 最近、道路の陥没事故が多く、中でも八潮市の陥没事故は大きな衝撃であった。本区もこの事故を受けて、道路の調査を行ったことは評価する。安心・安全のために、継続して調査していただきたい。

環境費 「全国みどり」と花のフェアかつしかの実現化が徐々に進み、区民と一体となって大成功を期待する。教育費 不登校対策プロジェクトは重要である。

他各特別会計は適正である。

決算審査特別委員会委員長報告（要旨）

決算審査特別委員会は、9月11日の本会議において、35名の議員をもって設置され、令和6年度各会計歳入歳出決算について審査を行ったものです。

まず、当委員会では、同日款項別の審査を行うために、4つの分科会を設置し、第1分科会は18名の委員により、一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、総務費、産業経済費および職員費を、第2分科会は17名の委員により、福祉費および衛生費を、第3分科会は18名の委員により、環境費および都市整備費を、第4分科会は17名の委員により、教育費および公債費以下と各特別会計歳入歳出決算をそれぞれ審査事項としました。

第1分科会は9月29日に、第2分科会は9月30日に、第3分科会は10月1日に、第4分科会は10月2日にそれぞれ開催し、所管事項の審査を行った結果、各分科会長から審査が終了した旨の報告書が委員長あてに提出されました。

当委員会はそれを受けて10月3日に委員会を開催し、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会派から示された審査事項についての意見を踏まえ、各会計歳入歳出決算について採決を行いました。

採決の結果につきましては、「一般会計歳入歳出決算」、「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」、「後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算」、「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」、「用地特別会計歳入歳出決算」、「駐車場事業特別会計歳入歳出決算」について、いずれも賛成多数で報告のとおり認定すべきものと決定しました。



次の定例会は12月開催予定です

可決された議案等

分は意見の分かれた案件（各会派の賛否は下欄参照）

1面下段からの続き

▼柴又川甚まちなみ館什器等の買入れ（仮称）子ども未来プラザ白鳥建築工事請負

▼東金町小学校増築工事請負

▼道上小学校屋内運動場等解体工事請負契約の変更

その他の5件

▼柴又川甚まちなみ館及び区立柴又公園拡張部の指定管理者の指定分

▼副区長の選任同意

長谷川豊氏を選任することに同意

▼教育委員会教育長の任命同意

市川茂氏を任命することに同意

▼教育委員会委員の任命同意

壺内明氏を任命することに同意

▼人権擁護委員候補者の推薦に関する意見

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を聞く。（区長の推薦に異議なし）

【議員提出議案 1件】

一部を改正する条例 1件

▼区議会政務活動費の交付に関する条例

政務活動費を月割り交付から日割り交付に改めるほか、規定の整備をする。

結果の出た請願

請願名下の分は意見の分かれた請願（各会派の賛否は下欄参照）

不採択 6件

▼奥戸の町で安心して住み続けられることを求める請願分

▼青木区長の政治資金に関する請願分

▼西小菅小学校のプールの有効活用に関する請願分

▼学校改築のための積立基金の取り崩しに関する請願分

▼水元温水プールの指定管理者（住友不動産エスフォルタ）による管理・運営に関する請願分

▼柴又地域の学校統合計画について、行政に望みたいことの請願分

議長あいさつ（要旨）

区議会定例会の最終日に、議長は次のあいさつを行いました。

令和3年11月、「区議会議員・区長の同時選挙」を経て、私どもが葛飾区議会第23期議員として、その職に就いてから、はや4年の月日が経過いたしました。

この間、我が国の経済は、ロシアのウクライナへの侵攻による影響に端を発した、原材料の供給不足などによる物価上昇が今も続いており、多くの区民の皆さまの生活に大きな影響を及ぼしています。

この難局を乗り越えるため、私たちは区職員の皆さまと一緒に知恵を絞り、区民の負担軽減対策について「区民の暮らしを守り抜く」という強い決意で精力的に審議を尽くしてまいりました。

一方、区政においては、解決しなければならぬ課題が山積しております。どうか、区職員の皆さまにおかれましては、区民福祉の一層の向上に取り組み、引き続き効率的な行政運営に当たられますよう、第23期議員を代表してお願ひ申し上げるものでございます。

私たちが区議会は、多くの区民の皆さまとの対話を通じ、熱い議論を交わしながら、葛飾区を全国に誇れる街へと発展することを願い、活動を続けてまいりました。

この思いは今後も続き、その輪がさらに大きくなることを期待しております。

議員各位におかれましては、「愛する葛飾」のために、次世代に誇れる未来となるよう、これからも研さんを積み、区政に対する関心を高める活動へのご尽力を、切に願うものでございます。

結びに、葛飾区の限らない発展を、衷心よりご祈念申し上げます。任期最後の定例会閉会に当たつての挨拶といたします。

意見の分かれた案件（○賛成、×反対、―表決に加わらず）

件名		会派名（ ）内は会派所属議員数										議決結果
		自民(12)	公明(8)	区民(6)	共産(4)	みら(3)	無※1(1)	無※2(1)	無※3(1)	無※4(1)	無※5(1)	
予算	令和7年度葛飾区一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
決算	令和6年度葛飾区一般会計歳入歳出決算											認定
	令和6年度葛飾区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算											
	令和6年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
	令和6年度葛飾区介護保険事業特別会計歳入歳出決算											
	令和6年度葛飾区用地特別会計歳入歳出決算											
	令和6年度葛飾区駐車場事業特別会計歳入歳出決算											
その他	柴又川甚まちなみ館及び葛飾区立柴又公園拡張部の指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	葛飾区副区長の選任同意方について	○	○	○	―	○	○	○	○	○	○	同意
請願	奥戸の町で安心して住み続けられることを求める請願											不採択
	青木区長の政治資金に関する請願	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	
	西小菅小学校のプールの有効活用に関する請願											
	学校改築のための積立基金の取り崩しに関する請願	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
	水元温水プールの指定管理者（住友不動産エスフォルタ）による管理・運営に関する請願	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	
	柴又地域の学校統合計画について、行政に望みたいことの請願											

自民＝自由民主党議員団、公明＝葛飾区議会公明党、区民＝かつしか区民連合、共産＝日本共産党葛飾区議会議員団、みら＝みらい葛飾(生活者ネット・無所属)、無＝無所属

音声版（デジジー版）CDをご利用ください

視覚障害のある方のために、音声版（デジジー版）CDを作成しています。ご希望の方はお申し込みください。

また現在、点字版をご利用の方で、デジジー版への変更をご希望の方も、お問い合わせください。

なお、点字版の利用も引き続き受け付けております。

【対象】区内在住で視覚障害のある方

【費用】無料

【申込方法】電話か直接窓口にてお申し込みください。

【申し込み・担当課】区議会事務局（区役所2階）5654・8503

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします（令和7年10月7日現在）

会派名	構成議員名									
自由民主党議員団	秋本とよえ 梅沢とよかず 筒井たかひさ	秋家聡明 大森ゆきこ 岸良至	安西まさのぶ 工藤きくじ	池田ひさよし 齊藤大介	伊藤よしのり 高木信明					
葛飾区議会公明党	岩田よしかず 下山しんいち	牛山正 細木まこと	江口ひさみ 山本ひろみ	小山たつや	清水こういち					
かつしか区民連合	うてな英明 米山真吾	大高拓	門脇翔平	かわごえ誠一	中村けいこ					
日本共産党葛飾区議会議員団	片岡ちとせ	木村ひでこ	中村しんご	三小田准一						
みらい葛飾(生活者ネット・無所属)	小林ひとし	夏目佳代子	沼田たか子							
無所属（※1）	おおにし順子									
無所属（※2）	つたえりな									
無所属（※3）	舟坂とも									
無所属（※4）	みずま雪絵									
無所属（※5）	むらまつ勝康									



会
長
伊藤 よしのり

副
会
長
下山 しんいち

委
員
齊藤 大介

委
員
細木 まこと

委
員
門脇 翔平

委
員
木村 ひでこ

委
員
夏目 佳代子

委
員
吉本 浩章

（区議会事務局長）

広報委員会

次の「かつしか区議会だより」は12月発行予定です